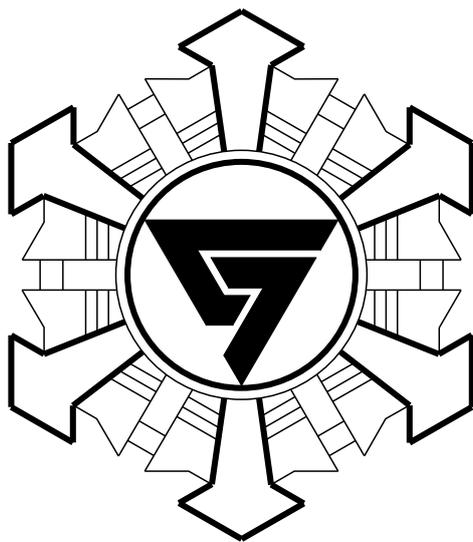

救 急 統 計

令 和 6 年 版



江 津 邑 智 消 防 組 合

はじめに

当消防組合は、昭和 47 年 10 月 1 日より救急業務を開始し、社会環境の多様化に伴い、救急体制の整備を図っているところです。

当消防組合では管内の各署所に高規格救急自動車を 9 台、救急隊員 97 名（救急救命士 40 名）を配置し、地域住民の皆様の安心と安全を守るため、一意に邁進しています。

救急業務に従事している救急救命士は 40 名で（各署所所属 39 名、本部所属 1 名）、40 名すべての救急救命士が薬剤投与認定及び、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保と輸液、血糖測定及び低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与が実施可能な、いわゆる処置拡大 2 行為の認定を受けています。40 名のうち、13 名は気管挿管認定（うちビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管認定 12 名）を受けています。心肺停止状態にある傷病者だけでなく、心肺停止が目前に迫った重度傷病者に対しても、早期に高度な救急救命処置を実施することでより一層の救命率向上及び予後の改善を目指しています。

救急隊員の生涯教育については、当消防組合管内の救急告示病院での実習、医療機関搬送後の実習をはじめ、消防本部警防課高度化推進係所属の指導救命士による各署所への日常的教育を実施しています。

令和 6 年 5 月に広島市で開催された第 40 回日本救急医学会中国四国地方会へ、完全房室ブロックを呈した CPA 事案について、症例発表を行いました。本症例は、12 誘導心電計が搭載されていない車両での出場でしたが、電極の貼付位置の工夫で早期に心電図上で ST の異常を見抜き、傷病者が心肺停止に移行する予測、移行した際の早期心肺蘇生法の実施、処置可能な病院選定、搬送先医療機関との連携により社会復帰に至った症例です。

今後も救急隊員の生涯教育等を通じ、質の向上を図り、医療機関との連携についても強化し、心肺停止症例事案に対して 1 件でも多くの方が社会復帰に繋がるよう努力していきます。

さて、近年の救急出場件数及び搬送人員は全国的に増加傾向にあるところ

で、当消防組合管内においても、昨年は救急出場件数 2,785 件、搬送人員 2,662 人となり出場件数、搬送人員のいずれも過去最多となりました。

また、5 類に移行した新型コロナウイルス感染症に関する救急出場件数及び搬送人員はともに 105 件であり、昨年の 101 件に対してほぼ横ばいでした。

傷病程度別搬送人員を見てみると、軽症率は昨年の 33.1%から 2.4 ポイント高い 35.5%、重症率は昨年の 13.8%から 0.8 ポイント低い 13.0%となりました。

総務省消防庁が公表した「令和 6 年版 救急・救助の現況」によると、令和 5 年の各傷病程度の割合は軽症 48.5%、中等症 42.9%、重症 7.3%、死亡 1.3% でした。当消防組合の傷病程度割合、軽症 35.5%、中等症 51.5%、重症 10.7%、死亡 2.3%と比較すると、当消防組合は軽症率が低く、重症率が高いことが分かり、当消防組合管内の地域住民の皆様の救急車の適正利用に対する意識の高さが伺えます。今後も救急車が必要な方に対して、限りある救急車を適切に利用し、迅速な救急搬送に繋がるよう広報活動を行っていきます。また、地域住民の方に対しても、今後とも救急車の適正利用に対してご理解とご協力をお願いします。

当地域では、早期の医療介入と治療の開始、高次医療への早期搬送と決定的な治療開始時間の短縮を目指し、島根県ドクターヘリ、広島県ドクターヘリ及び島根大学医学部附属病院高度外傷センターのドクターカーと連携し、傷病者のための救急業務を行っています。令和 6 年中の島根県ドクターヘリとの連携状況は現場救急 41 件、転院搬送 7 件、広島県ドクターヘリとの連携状況は現場救急 11 件、島根大学医学部附属病院ドクターカーとの連携状況は現場救急 3 件、転院搬送 1 件でした。

応急手当の普及啓発活動については、救急講習を 78 回、普通救命講習 I を 40 回開催しました。なお、e ラーニング（応急手当 WEB 講習）を活用した普通救命講習は 40 回開催のうち半数以上の 23 回開催し、408 名が受講されました。この e ラーニングを活用することで普通救命講習の講習時間を短縮することができます。令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症の感染分類が 5 類に移行

し、中止していた救急講習を再開したことで、応急手当の知識を取得したいと受講を希望する方が増えています。今年度は 10 年ぶりの開催となる応急手当普及員新規講習を行い、31 名の方が新たに応急手当普及員の資格を取得されました。

救急活動は救急隊のみで完結することは非常に困難です。現場に居合わせた人、救急隊、そして病院等の医療機関スタッフと救命に対する連携を図れるよう、普及啓発活動に取り組んでいきます。

最後に、地域住民の皆様が安心して暮らせる社会環境を守るため、今後もさらなる救急業務に対する知識や手技の向上を図っていくとともに、本書が広く関係各位に利用され、救急業務に対する理解を深める一助となることを切に願います。

目 次

1. 救急の概況	1 頁
2. 救急出場件数及び搬送人員の推移	3 頁
・ 出場件数及び搬送人員の推移（10年間）【表】【グラフ】	・ 署所別救急出場件数の推移（10年間）【表】【グラフ】
3. 署所別出場状況	4 頁
・ 署所別事故種別出場件数【表】	
4. 月別出場状況	5 頁
・ 月別事故種別出場件数【表】	
5. 事故種別出場状況の推移	6 頁
・ 事故種別出場件数及び構成比の推移（5年間）【表】	
6. 曜日別出場状況	7 頁
・ 曜日別事故種別出場件数【表】	
7. 時間帯別出場状況	8 頁
・ 時間帯別出場件数【グラフ】	・ 時間帯別事故種別出場件数【表】
8. 署所別現場到着及び収容所要時間の状況	9 頁
・ 現場到着、収容平均所要時間【グラフ】	・ 署所別現場到着所要時間割合【表】
・ 署所別収容所要時間割合【表】	
9. 搬送患者の構成	10 頁
・ 年代別事故種別搬送人員【表】	・ 男女別搬送人員【グラフ】
・ 覚知別出場割合【グラフ】	
・ 事故発生場所別出場割合【グラフ】	
10. 搬送患者の傷病程度	11 頁
・ 傷病程度別搬送人員【表】	・ 急病に係る年齢区分別傷病程度搬送人員【表】
・ 急病にかかる年齢区分別疾病分類搬送人員【表】	
11. 救急隊員の行った応急処置の状況	12 頁
・ 救急隊員の行った主な応急処置の回数【表】	

12. 医療機関別搬送人員の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13 頁

・事故種別医療機関別搬送人員【表】

・署所別医療機関別搬送人員【表】

13. 応急手当講習の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14 頁

・応急手当講習受講者数の推移（5年間）【表】・月別応急手当講習実施状況【表】

1. 救急の概況

令和 6 年中における当消防組合の救急業務実施状況を見ると、救急出場件数 2,785 件、搬送人員 2,662 人で、前年に比べ出場件数が 191 件(7.4 ポイント)、搬送人員が 172 人(6.9 ポイント)それぞれ増加している。

また、管内在住者 14.3 人に 1 人(前年 15.8 人に 1 人)が救急車を利用したことになり、1 日平均では 7.6 件(前年 7.1 件)出場し、7.3 人(前年 6.8 人)が救急隊によって搬送されたことになる。

救急出場の状況

令和 6 年中における署所別の出場件数については、瑞穂出張所は前年と変わらなかったが、その他の署所はすべて増加し、桜江出張所にあつては前年と比べ 16.8%増加した。

事故種別状況では、急病の割合が最も多く(62.7%)、ついで一般負傷(16.4%)、転院搬送(14.8%)の順となっている。事故種別割合については、前年と比較し急病が 1.8 ポイント増加、一般負傷は 0.7 ポイント減少、転院搬送は 1.0 ポイント減少した。

覚知別では、加入電話 119 番通報の割合が最も多く(50.6%)、ついで携帯電話 119 番通報(37.8%)、加入電話(9.8%)の順となっている。

事故発生場所別では、住宅の割合が最も多く(55.8%)、ついで公衆出入り場所(34.0%)、道路(5.7%)の順となっている。

救急搬送の状況

年代別事故種別搬送人員では、80 歳代が 29.8%ともっとも多く、ついで 90 歳代が 21.8%、70 歳代が 21.3%の順となっている。なお、60 歳代以上の搬送割合は 83.2%を占める。

搬送人員の傷病程度では、中等症以上が 64.5%を占めており、軽症、その他は 35.5%である。昨年と比べて微増微減はあるものの、大きな変化はみられない。

事故種別医療機関別搬送人員を見ると、管内の二次医療機関である済生会江津総

合病院・公立邑智病院への搬送が 1,782 人(66.9%) となっており、重篤な傷病者においては、管内の二次医療機関のみに限らず、管轄外の三次医療機関等へも搬送している。

応急手当講習

令和 6 年中の応急手当講習については、普通救命講習を 40 回開催し、658 名が受講した。なお、e ラーニング（応急手当 WEB 講習）を活用した普通救命講習は 40 回開催のうち半数以上の 23 回開催し、408 名が受講した。

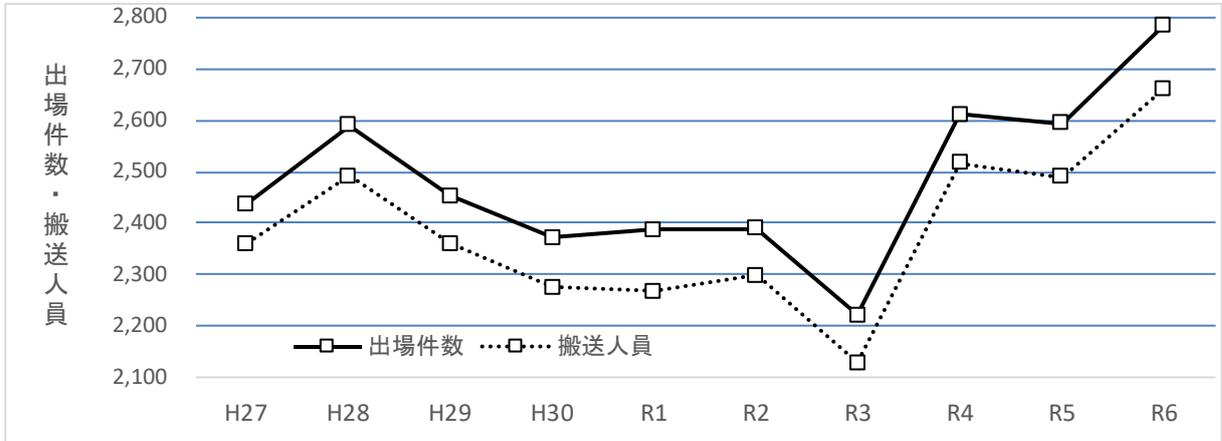
その他の講習会については、78 回開催し 1,675 名が受講した。昨年と比べ両講習会、受講者ともに増加した。

（令和 6 年 1 月 1 日管内人口 38,077 人）※しまね統計情報データベース参照

2. 救急出場件数及び搬送人員の推移

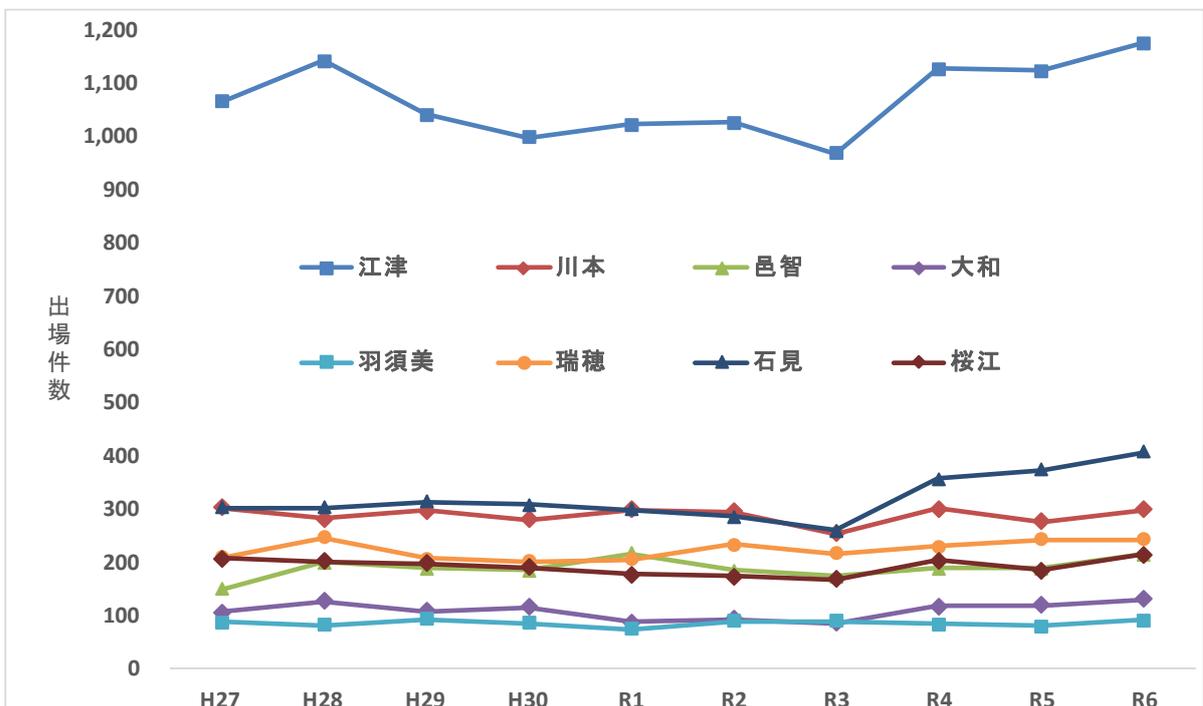
救急出場件数及び搬送人員の推移(10年間)

区分 \ 年別	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
出場件数	2,437	2,591	2,452	2,371	2,387	2,389	2,220	2,612	2,594	2,785
搬送人員	2,360	2,491	2,359	2,275	2,266	2,298	2,128	2,516	2,490	2,662



署所別救急出場件数の推移(10年間)

署所別 \ 年別	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
江津	1,068	1,144	1,043	1,000	1,025	1,029	970	1,129	1,125	1,179
川本	303	283	298	281	299	296	255	301	277	300
邑智	150	200	189	186	218	185	174	189	189	215
大和	106	127	109	116	87	93	86	117	120	131
羽須美	88	82	93	86	74	90	89	85	80	91
瑞穂	210	248	207	202	206	234	218	230	244	244
石見	304	304	315	309	300	287	260	357	374	409
桜江	208	203	198	191	178	175	168	204	185	216
合計	2,437	2,591	2,452	2,371	2,387	2,389	2,220	2,612	2,594	2,785



3. 署所別出場状況

署所別事故種別出場件数

区分	事故種別 合計	火災	自然	水難	交通	労働	運動	一般	加	自	急	転	医	資	そ
		事	災	難	事	災	競	負	害	損	病	院	師	機	の
	計	故	害	故	故	害	技	傷		行		搬	搬	材	他
		送							為	為	送	送	輸		
江津	出場件数	1,179		1	25	18	8	193	2	5	752	171			4
	搬送件数	1,127			22	18	8	192	1	1	715	170			
	不搬送	52		1	3			1	1	4	37	1			4
	搬送人員	1,130			23	18	8	192	2	1	716	170			
川本	出場件数	300	1		11	4	5	44			179	56			
	搬送件数	282			9	4	5	40			169	55			
	不搬送	18	1		2			4			10	1			
	搬送人員	282			9	4	5	40			169	55			
邑智	出場件数	215			9	3	1	33	1	1	161	6			
	搬送件数	203			9	3	1	32	1		151	6			
	不搬送	12						1		1	10				
	搬送人員	204			10	3	1	32	1		151	6			
大和	出場件数	131			2			23			99	6			1
	搬送件数	125			1			22			96	6			
	不搬送	6			1			1			3				1
	搬送人員	125			1			22			96	6			
羽須美	出場件数	91	1		1	2		17		2	57	11			
	搬送件数	86			1	2		17		1	54	11			
	不搬送	5	1							1	3				
	搬送人員	86			1	2		17		1	54	11			
瑞穂	出場件数	244	2		8	2		40		2	172	16	1		1
	搬送件数	232			7	2		39		1	167	16			
	不搬送	12	2		1			1		1	5		1		1
	搬送人員	234			8	2		40		1	167	16			
石見	出場件数	409	2	1	15	1	4	64		1	198	123			
	搬送件数	399	1	1	14		4	63		1	192	123			
	不搬送	10	1		1	1		1			6				
	搬送人員	404	1	1	19		4	63		1	192	123			
桜江	出場件数	216	8		2	9	1	44		1	128	23			
	搬送件数	195			7			41		1	123	23			
	不搬送	21	8		2	2	1	3			5				
	搬送人員	197			8			41		1	124	23			
合計	出場件数	2,785	14		4	80	31	18	458	3	12	1,746	412	1	6
	搬送件数	2,649	1		1	70	29	18	446	2	5	1,667	410		
	不搬送	136	13		3	10	2		12	1	7	79	2	1	6
	搬送人員	2,662	1		1	79	29	18	447	3	5	1,669	410		

4. 月別出場状況

月別事故種別出場件数

区分	事故種別	合計	火災	自然	水難	交通	労働	運動	一般	加	自	急	転	医	資	そ
			事故	災害	事故	事故	災害	競技	負傷	害	損行為	病	院搬送	師搬送	機材輸送	その他
1月	出場件数	221				3	2		39			135	42			
	搬送件数	216				3	2		38			131	42			
	不搬送	5							1			4				
	搬送人員	216				3	2		38			131	42			
2月	出場件数	214				4	2		32	1		149	26			
	搬送件数	209				4	2		31	1		145	26			
	不搬送	5							1			4				
	搬送人員	211				5	2		31	2		145	26			
3月	出場件数	233	2		1	10	2	1	35		2	148	31			1
	搬送件数	217				9	1	1	34		1	140	31			
	不搬送	16	2		1	1	1		1		1	8				1
	搬送人員	220				12	1	1	34		1	140	31			
4月	出場件数	200				9	3		36			117	35			
	搬送件数	188				8	3		35			107	35			
	不搬送	12				1			1			10				
	搬送人員	189				9	3		35			107	35			
5月	出場件数	221	2			4	1	1	36	1		136	38	1		1
	搬送件数	212	1			3	1	1	36			132	38			
	不搬送	9	1			1				1		4		1		1
	搬送人員	212	1			3	1	1	36			132	38			
6月	出場件数	255	2			13	4	4	37		1	162	32			
	搬送件数	242				11	4	4	36		1	154	32			
	不搬送	13	2			2			1			8				
	搬送人員	245				14	4	4	36		1	154	32			
7月	出場件数	267	1		1	4	3	4	35		1	192	25			1
	搬送件数	258				4	3	4	35		1	186	25			
	不搬送	9	1		1							6				1
	搬送人員	260				4	3	4	36		1	187	25			
8月	出場件数	268	2			11	4	2	40	1	2	163	43			
	搬送件数	251				9	3	2	38	1	1	154	43			
	不搬送	17	2			2	1		2		1	9				
	搬送人員	251				9	3	2	38	1	1	154	43			
9月	出場件数	222	2		1	3	6	1	36		2	133	35			3
	搬送件数	214			1	2	6	1	36		1	132	35			
	不搬送	8	2			1					1	1				3
	搬送人員	214			1	2	6	1	36		1	132	35			
10月	出場件数	217	2			6	1	4	41		3	122	38			
	搬送件数	201				4	1	4	41			113	38			
	不搬送	16	2			2					3	9				
	搬送人員	202				5	1	4	41			113	38			
11月	出場件数	194	1			6		1	33			122	31			
	搬送件数	184				6		1	30			116	31			
	不搬送	10	1						3			6				
	搬送人員	184				6		1	30			116	31			
12月	出場件数	273			1	7	3		58		1	167	36			
	搬送件数	257				7	3		56			157	34			
	不搬送	16			1				2		1	10	2			
	搬送人員	258				7	3		56			158	34			
合計	出場件数	2,785	14		4	80	31	18	458	3	12	1,746	412	1		6
	搬送件数	2,649	1		1	70	29	18	446	2	5	1,667	410			
	不搬送	136	13		3	10	2		12	1	7	79	2	1		6
	搬送人員	2,662	1		1	79	29	18	447	3	5	1,669	410			

5. 事故種別出場状況の推移

事故種別出場件数及び構成比の推移(5年間)

()内数字は構成比を表す。

年別 事故種別	R2	R3	R4	R5	R6
火災事故	2 (0.1%)	3 (0.1%)	11 (0.5%)	18 (0.7%)	14 (0.5%)
自然災害	2 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
水難事故	2 (0.1%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	3 (0.1%)	4 (0.1%)
交通事故	86 (3.7%)	63 (2.9%)	64 (2.5%)	100 (3.9%)	80 (2.9%)
労働災害	36 (1.5%)	20 (0.9%)	18 (0.7%)	26 (1.0%)	31 (1.1%)
運動競技	3 (0.1%)	9 (0.4%)	14 (0.5%)	13 (0.5%)	18 (0.6%)
一般負傷	381 (15.9%)	349 (15.7%)	447 (17.1%)	444 (17.1%)	458 (16.4%)
加害	1 (0.0%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	4 (0.2%)	3 (0.1%)
自損行為	12 (0.5%)	15 (0.8%)	14 (0.5%)	19 (0.7%)	12 (0.8%)
急病	1,497 (62.7%)	1,401 (63.1%)	1,674 (64.1%)	1,555 (59.9%)	1,746 (62.7%)
転院搬送	366 (15.3%)	349 (15.7%)	367 (14.1%)	409 (15.8%)	412 (14.8%)
医師搬送	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	1 (0.0%)
その他	1 (0.0%)	5 (0.2%)	1 (0.0%)	3 (0.1%)	6 (0.2%)

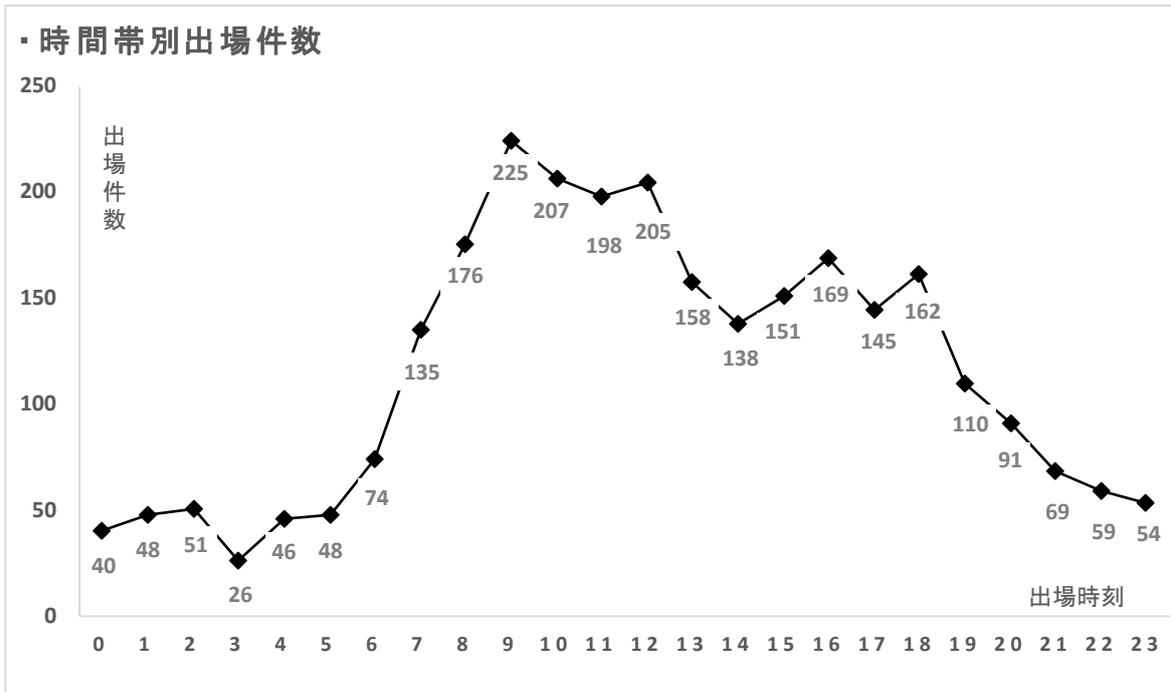
※割合の算出にあつては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

6. 曜日別出場状況

曜日別事故種別出場件数

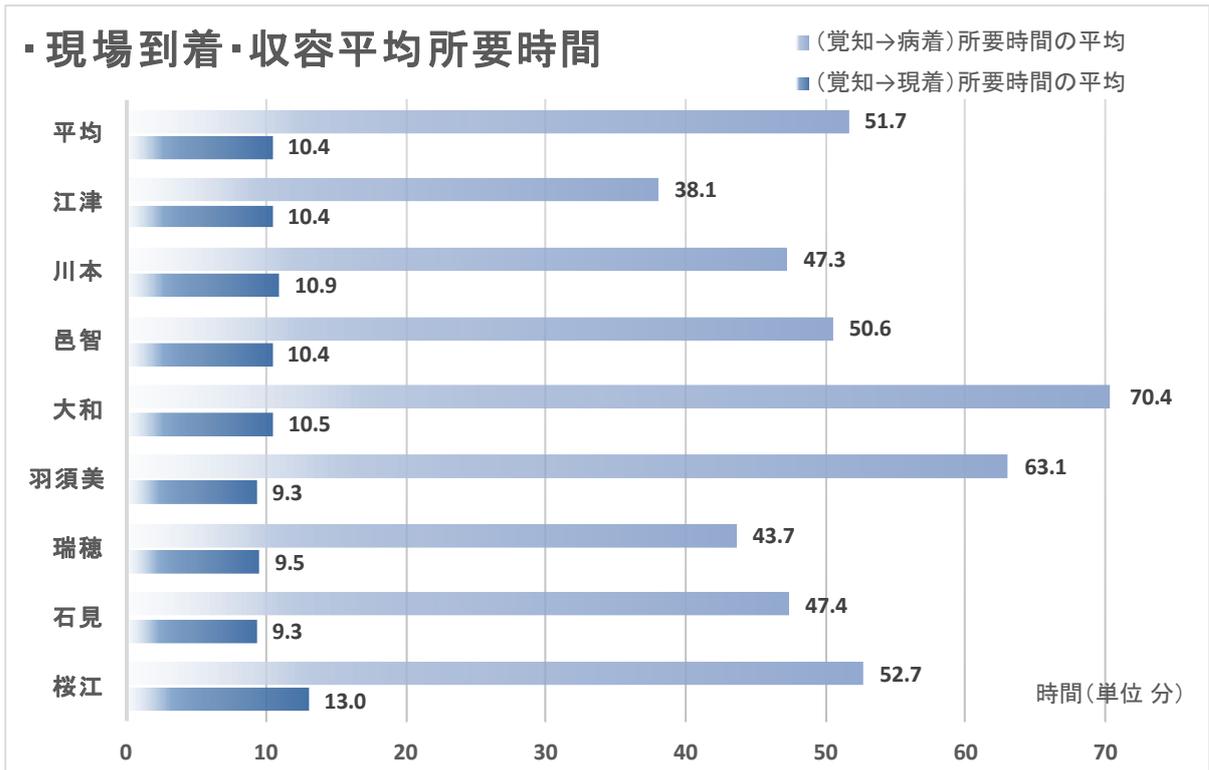
曜日 事故種別	合計	月	火	水	木	金	土	日
火災事故	14		2	5		4	2	1
自然災害								
水難事故	4	2						2
交通事故	80	17	11	15	10	13	6	8
労働災害	31	10	6	4	4	3	3	1
運動競技	18	3		3	5	1	3	3
一般負傷	458	68	63	57	64	77	64	65
加害	3						1	2
自損行為	12		3	1	2	2		4
急病	1,746	299	246	249	247	230	241	234
転院搬送	412	67	69	62	56	78	49	31
医師搬送	1			1				
資機材搬送								
その他	6	1			1		2	2
合計	2,785	467	400	397	389	408	371	353

7. 時間帯別出場状況



事故種別 時間	合計	火災	自然	水難	交通	労働	運動	一般	加	自	急	転	医	資	そ
		事故	災害	事故	事故	災害	競技	負傷	害	損行為	病	院搬送	師搬送	機材搬送	その他
0~1	40				2	1		7		1	28	1			
1~2	48							9			37	2			
2~3	51				1			5			38	6			1
3~4	26	1						5			17	2			1
4~5	46	1			1			5			35	4			
5~6	48	1						8	1		36	2			
6~7	74					1		13			60				
7~8	135			1	5			25		1	100	3			
8~9	176			1	2	3		40		2	116	12			
9~10	225				3	9		47			136	30			
10~11	207				10	3	2	36			124	31	1		
11~12	198	1		1	5	4	2	24			108	53			
12~13	205	2			8	1	1	32		2	114	45			
13~14	158				4	2		27			86	38			1
14~15	138	1			5	2	3	24		2	72	28			1
15~16	151	2			8	1	2	23		1	84	30			
16~17	169				4	3	2	24		1	102	32			1
17~18	145				3	1	2	27			96	16			
18~19	162	1		1	8		2	29		2	96	22			1
19~20	110	1			3		1	13			80	12			
20~21	91	1			7			12	1		55	15			
21~22	69				1			15			45	8			
22~23	59	1					1	5			44	8			
23~24	54	1						3	1		37	12			
合計	2,785	14		4	80	31	18	458	3	12	1,746	412	1		6

8. 署所別現場到着及び収容所要時間の状況



署所別現場到着所要時間割合

署所別 区分	合計	江津	川本	邑智	大和	羽須美	瑞穂	石見	桜江
3分未満	34	7	2	10	2	4	4		5
3～5分	112	21	16	16	4	12	9	21	13
5～10分	1,363	567	153	80	69	35	126	250	83
10～20分	1,091	541	104	94	42	37	94	113	66
20分以上	185	43	25	15	14	3	11	25	49
合計	2,785	1,179	300	215	131	91	244	409	216

署所別収容所要時間割合

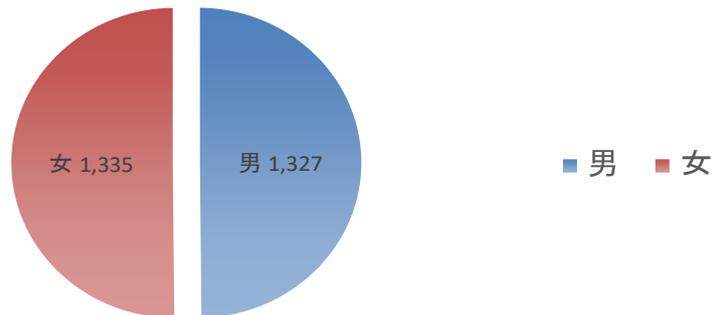
署所別 区分	合計	江津	川本	邑智	大和	羽須美	瑞穂	石見	桜江
10分未満									
10～20分	47	26	1					20	
20～30分	491	324	30	8			8	120	1
30～60分	1,578	694	187	151	13	36	201	137	159
60～120分	527	82	63	44	112	50	22	120	34
120分以上	6	1	1				1	2	1
合計	2,649	1,127	282	203	125	86	232	399	195

9. 搬送患者の構成

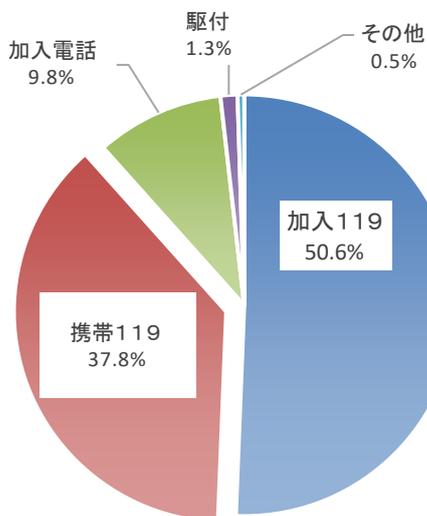
年代別事故種別搬送人員

事故種別 区分	合計	火災 事故	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	転院 搬送	そ の 他
10歳未満	61				3			14			41	3	
10歳代	64				3		16	10			28	7	
20歳代	34				8	3	1	4	1		17		
30歳代	52				6	6					36	4	
40歳代	90				6	9		13			48	14	
50歳代	146	1			9	3		17	1	3	86	26	
60歳代	239				7	2	1	29	1		155	44	
70歳代	566			1	19	5		97		1	330	113	
80歳代	794				13	1		158			506	116	
90歳代	579				5			99		1	395	79	
100歳以上	37							6			27	4	
合計	2,662	1		1	79	29	18	447	3	5	1,669	410	

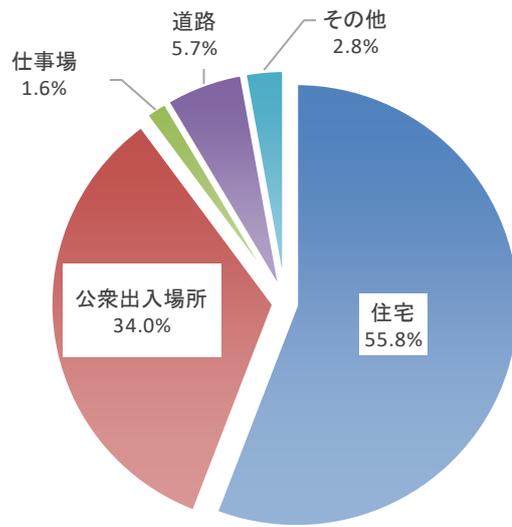
・男女別搬送人員



・覚知別出場割合



・事故発生場所別出場割合



※割合の算出にあつては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

10. 搬送患者の傷病程度

傷病程度別搬送人員

傷病程度 事故種別	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
火災	1			1		
自然災害						
水難	1	1				
交通	79	2	4	22	51	
労働災害	29		4	9	16	
運動競技	18			5	13	
一般負傷	447	14	28	233	172	
加害	3		1		2	
自損行為	5	2		2	1	
急病	1,669	42	165	813	649	
転院搬送	410	1	82	285	41	1
医師搬送						
資器材搬送						
その他						
合計	2,662	62	284	1,370	945	1

急病に係る年齢区分別傷病程度搬送人員

傷病程度 年齢区分	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
死亡	42				6	36
重症	165		2		18	145
中等症	813		17	6	85	705
軽症	649		22	16	153	458
その他						
合計	1,669		41	22	262	1,344

急病に係る年齢区分別疾病分類搬送人員

疾病分類 年齢区分	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
脳疾患	97				13	84
心疾患	168			1	18	149
消化系	131			1	21	109
呼吸系	204		3	3	11	187
精神系	53			2	27	24
感覚系	109		2	2	25	80
泌尿系	80				9	71
新生物	26				4	22
不明確	388		32	9	73	274
その他	413		4	4	61	344
合計	1,669		41	22	262	1,344

新生児：生後28日未満

乳幼児：生後28日以上8歳未満

少年：8歳以上18歳未満

成人：18歳以上65歳未満

高齢者：65歳以上

1 1. 救急隊員の行った応急処置の状況

事故種別 応急処置	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送
人工呼吸	10							1		1	5	3
心肺蘇生法	57			1	3			12		1	40	
自動	32				1			8		1	22	
気道確保	86			1	3			16		2	63	1
経鼻エアウェイ	3									1	2	
喉頭鏡・鉗子等	3							2			1	
リングアルマスク等(※1)	34				3			7			24	
気管挿管(※3)	4							1			3	
ビデオ喉頭鏡(※4)	1										1	
除細動	2										2	
血糖測定(※5)	167				1			5			161	
静脈路確保 (乳酸リンゲル)	35				1			7		2	25	
心肺停止後(※1)	23							2			21	
ブドウ糖投与(※5)	4										4	
薬剤投与	36				1			7		2	26	
アドレナリン(※2)	1					1						
エピペン	4										4	
ブドウ糖(※5)	4											
酸素投与	746			1	17	5		47		3	536	137
止血	72				7	8	2	44	1		10	
固定	248			1	64	7	4	144		1	17	10
保温	1,264				40	11	2	208			816	187
被覆	135	1			18	11	2	89	1		13	
血圧測定	2,593	2			78	30	17	424	3	4	1,633	402
聴診器による心音・呼吸音の聴取	2,002	2			73	15	10	324		4	1,507	67
血中酸素飽和度	2,630	2			78	31	18	433	3	4	1,652	409
心電図	2,049	1		2	48	15	8	269		5	1,542	159

(※1)救急救命士が実施可能(資格者40名)

(※2)救急救命士のうち薬剤投与認定救命士が実施可能(資格者40名)

(※3)救急救命士のうち気管挿管認定救命士が実施可能(資格者13名)

(※4)救急救命士のうちビデオ喉頭鏡挿管認定救命士が実施可能(資格者12名)

(※5)救急救命士のうち処置拡大認定救命士が実施可能(資格者40名)

1 2. 医療機関別搬送人員の状況

事故種別医療機関別搬送人員（ ）はドクターヘリ、ドクターカーに収容した人員の内訳

医療機関別	事故種別	合計	事故種別											
			火災 事故	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
済生会江津総合病院		942				24	15	7	198	2	1	668	27	
公立邑智病院		840			1	35	6	9	164		3	576	46	
浜田医療センター		390	1			4	2	1	35		1	158	188	
大田市立病院		238				10	2	1	31	1		175	18	
島根県立中央病院		79				3(3)	4(4)		4(3)			37(31)	31(7)	
島根大学医学部附属病院		51				3(3)						2	46(1)	
市立三次中央病院		43							8			28	7	
安佐市民病院		41							1			1	39	
広島大学病院		11							2(2)			9(9)		
社会医療法人仁寿会加藤病院		9										9		
大朝ふるさと病院		4							3			1		
吉田総合病院		3							1			1	1	
広島市民病院		2											2	
町立飯南病院		2										2		
その他(管内その他)		1											1	
マツダ病院		1											1	
三次地区医療センター		1										1		
松江医療センター		1											1	
西川病院		1											1	
西部島根医療福祉センター		1										1		
鳥取大学医学部附属病院		1											1	
合計		2,662	1		1	79	29	18	447	3	5	1,669	410	

署所別医療機関別搬送人員（ ）はドクターヘリ、ドクターカーに収容した人員の内訳

医療機関別	署所別	合計	署所別							
			江津	川本	邑智	大和	羽須美	瑞穂	石見	桜江
済生会江津総合病院		942	793	2					2	145
公立邑智病院		840		208	17	66	68	208	264	9
浜田医療センター		390	288	17	1			6	42	36
大田市立病院		238	4	31	169	29	2	2	1	
島根県立中央病院		79	22(10)	12(6)	12(8)	2(1)	1(1)	7(6)	18(11)	5(4)
島根大学医学部附属病院		51	19(2)	6(1)					26(1)	
市立三次中央病院		43				26	14		3	
安佐市民病院		41		2				3	36	
広島大学病院		11	2(2)		2(2)	1(1)		3(3)	2(2)	1(1)
社会医療法人仁寿会加藤病院		9		4	2			1	1	1
大朝ふるさと病院		4						2	2	
吉田総合病院		3						2	1	
広島市民病院		2							2	
町立飯南病院		2			1	1				
その他(管内その他)		1							1	
マツダ病院		1							1	
三次地区医療センター		1					1			
松江医療センター		1	1							
西川病院		1							1	
西部島根医療福祉センター		1	1							
鳥取大学医学部附属病院		1							1	
合計		2,662	1,130	282	204	125	86	234	404	197

1 3. 応急手当講習の実施状況

月別応急手当講習実施状況

講習別		月別												
		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
普通救命講習	回数	40	8	1	1		10	6	6	1		2	2	3
	受講者数	658	248	12	15		170	84	71	9		11	14	24
その他の講習	回数	78	2	2	2	3	12	22	13	9	2	5	4	2
	受講者数	1,675	29	47	30	27	224	460	343	170	47	85	123	90

応急手当講習受講者数の推移(5年間)

講習別	年別					
	合計	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
普通救命講習	1,398		149	145	446	658
その他の講習	5,461	671	972	647	1,496	1,675

救 急 統 計 (令和 6 年版)

発行 令和 7 年 3 月

編集・発行 江津邑智消防組合消防本部
警防課 救急係

〒695-0001

島根県江津市渡津町 961 番地 19

TEL 0855-52-0121

FAX 0855-52-0201
